

高尾山の紅葉
楽しみだワン!!



工房だより



大地がらの恵みふらばい
ドッグフード
工房

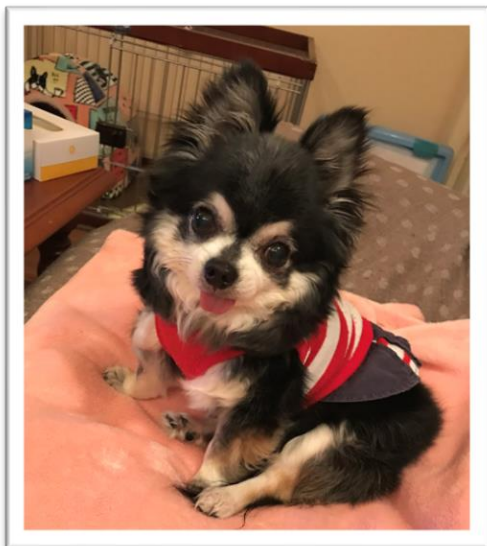
2021年11月号

vol. 42

～ ペットのための自然食キッチンから～

十四才になるパルちゃんは今先日健康診断で全て異常無しでした(笑) 好き嫌いが激しく大変でしたがドッグフード工房に出会えて毎日安心して食べさせられる事に感謝です。ずっとずっと元気で一緒にいようね(笑)

大きな腫で見つめられたら...何でも許してしまえば、パルちゃんのますますの健康に私どものフードが少しでもお役に立てたら幸いです。



今月の一枚

パルちゃん 十四才 (撮影時) チワワ



Say cheese!

ワンちゃんのお写真募集中！メールにて一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。

info@petfood-kitchen.co.jp

獣医師による相談窓口を開設いたします!!

「できてたて定期便」ご利用のお客様を対象に、「ワンちゃん健康相談窓口」を開設いたします。フードや食事についてお悩み事などがございましたら、お気軽にご相談ください。

ご相談やご質問したいことがございましたら、サイト上に設置した専用窓口からご入力いただくと、岡田愛香獣医師より後日メールにて回答させていただきます。開始時期は十二月を予定しておりますが、詳細はサイトのお知らせにてご案内させていただきます。



※なお、ご相談は、メールのみとなっております。誠に申し訳ございませんが、お客様窓口にお電話いただいても、ご対応いたしかねますので予めご了承ください。

不明な点などございましたらお客様窓口までお問い合わせください。

お客様窓口 0120-634-436

営業時間 十時～十七時三十分※日祝休み

食べっぷり動画募集キャンペーン

メ切は、十一月三十日

Instagramにて食べっぷり動画の募集をしております。入賞品には、無添加おやつの特典セットをご用意しております。ご応募お待ちしております!!

・募集期間

十一月一日(月)～三十日(日)

・応募方法 Instagramより

ドッグフード工房公式アカウント

[@dogfood_kobo]をフォローして下さい

キャンペーンハッシュタグ

『#ドッグフード工房食べっぷり』

食べっぷり動画とお顔がわかるお写真を投稿してください。お写真は工房だよりの表紙を飾る際に使用します。



昨年、2匹のワンコで入賞し、3月号の表紙を飾ってくれた、くるみちゃん みるくちゃんより

膀胱炎について

十一月になり肌寒い日が増えてまいりました。気温が下がり始めるこの季節から、かかりやすくなる「膀胱炎」についてお話させていただきます。

膀胱は尿を溜めている袋のような臓器です。寒くなると、飲水量が減少し、つくられる尿も減り、膀胱の中で尿が濃縮されやすい環境となります。その結果、膀胱炎や尿路結石などのトラブルへ発展してしまいます。

是非、ワンちゃんのおしっこを観察してください。以下のような点があれば要注意です。

例えば、あまり出ていないのに何回も排尿姿勢をする、臭いがキツくなった、すこし血混じりのような時がある…このような様子が見られたら、もしかしたら膀胱炎かもしれません。ワンちゃん膀胱炎の原因は様々ですが、なかでも糞便由来の細菌感染による「細菌性膀胱炎」が最も多いと言われています。外部の細菌が尿道を伝って膀胱まで到達し、濃縮した尿の中で増殖してしまいます。慢性化すると細菌が膀胱組織の中まで入り込み、長期的な治療が必要に

なることも。細菌性膀胱炎の予防の基本は、お尻周りを清潔に保つこと、そして、尿道から侵入してくる細菌を尿で洗い流すことです。洗い流すためには尿量を減らさないよう、十分に水分を摂取する必要があります。

飲水量を増やすためには、常に新鮮なお水を用意し、好きなところで飲めるよう器を何箇所かに設置すること。

また、フードをふやかして与えることも水分補給になりますのでおすすすめ。

(ドッグフード工房は、ふやかすと半生フードになり、美味しそうな匂いも立ちます。)

そしてもう一つ大切なことはワンちゃんにおしっこを我慢させないことです。

長くためていると菌の増殖に繋がります。ワンちゃんのトイレもいつも清潔にしてあげましょう！

次回は、膀胱炎の原因の一つでもある「尿路結石」についてお話をさせていただきます。

獣医師 岡田愛香



Chap18: 叶ちゃんの気持ちpart2

【高尾さんちの叶ちゃん】

工さんと房さんは、熱心に叶ちゃんを観察したり、トイプードルの特性を勉強したり、日々努力をしてみました。ある日、房さんは叶ちゃんのお散歩中にこんな光景を目にしました。言うことを聞かないからと、猛烈に怒られているワンちゃん。その子があくび



をする、こんなにときにと、さらにエルカレート。その子のママは知らないのです。犬があくびをすること、これは決して眠かったり、退屈しているわけではありません。犬は、あくびをすることで緊張をほぐしたりします。つまり、「そんなに叱らないで」のサインなのです。房さんは、教えてあげたいと心の中でつぶやきました。夕飯のかたづけを済ませ、散歩で見たことを工さんに報告しながら



ら、きつと叶ちゃんとの間にも、こんなすれ違いがあったのだと、あらためて思いました。本には、こんなことも書いてありました。犬がブルブルブルと体を振ったりすることこれも、決して体がゆかかったり、何かが体ついたのを払ったりしているのではなく、嫌という感情の表れだそう。100%ズルだといふことではないのですが、そういう表現があることを知ることの大切さ。また日頃の叶ちゃんの行動から、何を伝えようとしているのか、理解しようとするのが大事だと、寄り添う工さんと房さんでした。つづく